



(ep)o(car)

エポカ vol. 134

静岡県男女共同参画センター・あざれあ情報誌 2019年2月号



トランスジェンダーの 君へのメッセージ

静岡県男女共同参画センター・あざれあ 〒422-8063 静岡市駿河区馬渓1-17-1

TEL: 054-250-8147 FAX: 054-251-5085 e-mail: info@azarea-navi.jp

URL: <https://www.azarea-navi.jp/> 編集・発行: あざれあ交流会議グループ

この人に聞く！

トランスジェンダーの君へのメッセージ

りく 後藤 理玖さん (Rainbow DooR しづおか代表／沼津市)



★誰にでも開かれた居場所カフェ「カフェ・レインボー・ドア」

中学時代の3年間を不登校で過ごしました。中学1年生の時、性自認が生まれながらの性である女性ではなく、男性であることを自覚し、そのことを誰にも言えず苦しみました。学校では、女子のグループに入ることができず、いじめにあったり、担任の先生の性的マイノリティを笑いのネタにするような発言に傷つき、トランスジェンダーであることがバレないように隠して生活していました。当時は、家族にも隠し、必死に女の子を演じていました。どこにも自分の居場所がないと感じ、「自分はいったい何者なのか？」と自問自答していました。

3年前に「カフェ・レインボー・ドア」を立ち上げたのは、当時の自分が、地元でLGBT当事者同士が気軽に集まってリアルで正しい情報を共有でき、自分を隠さずにいられる居場所が欲しかったからです。このカフェは、LGBT当事者のみならず、誰にとっても自分らしくいることのできる居場所でありたいと思い立ち上げました。また、カフェの運営と共に、LGBT啓発活動として、小・中学校に呼んで頂き、教員などを対象に自分の経験を話させて頂いたり、メールで当事者からの相談を受けたりしてきました。4月からはカフェではなく、居場所スペースとして、中高生もアクセスしやすい沼津駅の近くに移転する予定です。

★トランスジェンダーの生徒をめぐる学校現場での課題

特に教育現場では、LGBTの生徒への理解と柔軟な対応が早急に求められていると実感しています。現在は、男女共にズボンかスカートどちらの制服も選択できる学校が出てきましたが、まだごく一部にすぎません。男女で区別された制服の規定があるために学校へ行けず、不登校になったり、中退せざるを得ない生徒もいます。トランスジェンダーの生徒が、カミングアウトの必要性や負担を感じずに、制服が選べる環境ができればいいなと思います。「冬は寒いからズボンで行こう」、「夏は暑いからスカートにしよう」など、男子でも女子でも自分のジェンダー・アイデンティティを気にせずに制服を選択できればいいですね。

トイレの問題も同じではないでしょうか。男女で限定されない、使用することでカミングアウトに繋がらない、誰もが使えるトイレが必要だと思います。集団生活にはルールが必要ですが、制服やトイレの問題など、二元化された性別によるルールの意味を問い合わせる必要があると思います。トランスジェンダーへの認知度は昨今上がってはきていますが、まだまだ越えなければいけないハードルはあるのではないでしょうか。

★トランスジェンダーの君へ

不登校だった中学時代、なぜ私が学校に行かないのか誰にも打ち明けることが出来ませんでした。中学を転校した後も、学校に通うことはできませんでしたが、転校先の先生が毎日の様に家に来てくれ、じっくり自分と向き合おうしてくれた事が嬉しくて。この先生になら打ち明けても大丈夫なのではないかと思うようになりました。その先生には卒業間近にカミングアウトしました。また同じ時期に通っていた塾の先生も私のことを応援してくれました。勉強はしたいのに、頑なに学校に行こうとしない私が、「スカート履きたくないから、学校に行きたくない」とボロッと言うと「だったら、ズボン履いて行けばいいじゃん！」とサラっと言葉を返してくれました。この先生の働きかけで、間接的に母にもカミングアウトすることができ、また男子生徒として高校に通うことができるようになりました。男子生徒として受け入れてくれ、様々な面でサポートしてくださった学校には本当に感謝しています。男子生徒として入学するにあたり、“リク”という通称名を使うことになりました。私はとても嬉しかったのを覚えています。その一方で、母が困惑した表情をしていたことを今でも忘れられません。当時、母は、私がトランスジェンダーであることに気づいていましたが、受け入れることを避けている様に感じます。その後、時間はかかりましたが、今ではありのままの私を受け入れてくれ、リラックスした関係を築けています。母との関係を橋渡ししてくれた先生方には、本当に感謝しています。最近では、80歳を超える祖父も、“リカ”ではなく“リク”と呼んでくれたり、祖母も「がんばってるね」と、私のLGBT啓発活動に理解を示してくれています。

あなたがトランスジェンダーであるということには何の非もありません。もし今、苦しみや悩みを抱えているとしたら、それはあなた自身の性自認の捉え方が間違っているからではなく、周りにいる家族や学校の先生、友人などのあなたへの捉え方が、本来のあなた自身と違うからだということに気づいて欲しいのです。

家族へのカミングアウトは、身近で大切な存在だからこそハードルが高く、時間もかかると思います。また、やっとカミングアウトできても、すぐに受け入れてもらえるとは限りませんよね。私自身の経験から言えることは、「時間が解決してくれることがあるよ」ということ。私も、悩みの真っ只中にいる時期は、そこから抜け出すために何をしたらよいのかわからず、もがいていました。誰かに知って欲しくても誰にも言えず、頼れる情報もなく、自分はみんなと違うダメな人間だと思っていました。幸運なことに、安心して話せる先生にめぐり会い、「自分はこれでいいんだ」と徐々にアイデンティティを確立できるようになりました。まだ、精神的に不安定になる時もたまにありますが、周りを見渡せば、私のことを温かく見守り、応援してくれる人たちがいることに気づきます。あなたにも、そんな人がきっといるはずです。絶望する必要はありません。



『封じ込められた子ども、その心を聴く：

性同一性障害の生徒に向き合う』

(中塚幹也 ふくろう出版 2017年)

性同一性障害の子どもたちは、どのような気持ちや悩みを抱えているのでしょうか。学校に求められている役割や具体的な対応についても解説。性別に違和感を持っている子どもたちへの理解に役立ちます。



『パンツ・プロジェクト』

(キャット・クラーク

(あすなろ書房 2017年)

中学校の始業式の朝をリップは最悪な気分で迎えます。なぜなら、制服のスカートをはかなくてはいけないから。リップは外見は女の子でも内面は男の子なのです。自分らしく過ごすために闘うリップを応援したくなります。

あざれあ図書室
利用案内

貸出：図書5冊 ビデオ・DVD2本(2週間)

開室時間：月～金 9:00～18:00 土日祝 9:00～17:00

休室日：第1・3・5日曜日、図書整理日

TEL: 054-255-8763 FAX: 054-255-8759

男女共同参画社会づくり
宣言事業所・団体

H30 男女共同参画社会づくりに関する知事褒賞受賞

ヒューマンウェア(株) (静岡市)

宣言事業所・団体 1,582件

(平成31年2月25日時点)

●多様性のある組織風土がITの新しい価値を生み出す

東京に本社を置くヒューマンウェア(株)は、ITシステムの開発や運用などを手掛ける。ITはいまや、私たちの生活やビジネスに欠かせない技術として、著しく革新し続けている分野であり、ヒューマンウェアはその一翼を担う企業として、私たちの生活に新しい価値基準を与え、より豊かで快適な未来に導くために、ITと人間のよりよい共存を目指している。

本社と国内4事業所あわせて約230人の従業員のほとんどはIT技術者で、そのうち20%ほどを女性が占めている。ヒューマンウェアでは、ダイバーシティ推進室を設け、従業員の性別、年齢、人種、国籍、宗教、性的指向やジェンダー・アイデンティティのみならず、働き方やキャリアに対する考え方も含め、多様性を重視し、その方針に沿って、求める人材や組織の制度、環境はどうあるべきか、議論を重ねている。そして、男女の採用比率を半々にすることなど、目標値を明確に定めることで、多様性のある組織の実現に向け努力している。

約90人の従業員を抱える静岡事業所では、本社の方針をベースに、多様性のある組織づくりを目指しているほか、独自に「KALENの会」という、女性従業員たちが集まり交流できる場を設けている。この場から出てくるさまざまな声を、意見やアイデアとして吸い上げることで、女性従業員がより働きやすい職場にするための具体的な制度や環境が生まれてきている。

静岡事業所でITエンジニアとして働く新井絵美さんは、二児の母。「小さな子どもがいるため、一日のライフサイクルが早めです。ですので、朝早く出勤するのは問題ないのですが、夕方以降は子どものために時間を作りたい。ということで、現在、勤務時間帯をずらし、通常より40分早く出勤し、40分早く退勤する形を取らせてもらっています。このように、従業員それぞれの家庭事情を踏まえ会社側が対応してくれるのは、非常にありがとうございます」

「当社では、昨年8月からテレワークを導入しています。子育て中などさまざま理由で出社は難しいが、高度なスキルセットを持つ女性が多くいます。そういう方たちにIT開発の一部を担っていただきおり、現在15人の女性たちが全国各地で在宅ワークに従事しています」と代表取締役社長の山本剛也さん。

「また、中国、台湾、ミャンマーなど5人の外国人IT技術者も当社で活躍しておりますし、男性従業員の中から育休取得者も少しではありますが出ています。かくいう私も短期間でしたが育休取得者です。これからは、採用や人材育成、働き方において、いかに多様性のある組織体制ができるかが発展のカギだと考えます。男女共同参画においては、当社はまだまだ発展途上ではありますが、企業としての理念や使命、役割からぶれないためにも、ダイバーシティや女性活躍を推進していきたいです」



左から、代表取締役社長 山本 剛也さん
静岡ソリューション部 技術部長補佐 新井 絵美さん
静岡ソリューション部 部長 海野 昌也さん

地元のハンサムウーマン～地域力を高める女性たち～

磯部 三恵さん (link 代表／長泉町)

★性暴力を他人事としないために

昨年（平成 30 年）3月、性被害者支援を中心に、性暴力をなくすための解決策を模索しようと、仲間と共に「link」を立ち上げました。もともと、静岡犯罪被害者支援センターの支援員や個人のカウンセリングを行っている中で、女性に対する性犯罪の多さや深刻さを知り、また支援に繋がる場所が県東部にないことなどから、身近に相談でき、支援に繋がる場所が必要だと感じていました。今は、5人のメンバーで活動し、相談業務の傍ら、性暴力についてお互いに勉強している最中です。ゆくゆくは学んだことを次世代に繋げていけるよう、何らかの形で発展性のあるアウトプットができればと考えています。



性暴力を巡る課題は山ほどあります。被害者を被害者側の立場から、精神面などで支援することの難しさはもちろんですが、性犯罪に関する法律面での課題や、性暴力に対する人々の意識面での変革など、さまざまな視点からどのようにアプローチできるか考えていかなければなりません。

法律面では、一昨年（平成 29 年）、110 年ぶりに性犯罪に関する刑法が改正され、被害者の告訴がないと起訴できない「親告罪」から、被害者の告訴がなくても起訴できる「非親告罪」になるなど進展した点もあります。しかし、時効の問題や、立証するまでの捜査が警察と検察によって違っていたり、確実に起訴できる証拠がない限り起訴されないため、決定的証拠を求められプライベートを侵害されたりする中、告訴することにハードルの高さを感じてしまい、あきらめてしまう人もいるなどの課題があります。このようなことから、さらなる法律の改正を求めていかなければならないと思います。

意識面では、被害者だけではなく、加害者の心理を把握することや、性被害当事者ではない人たちが、性暴力を他人事ではなく、自分たち社会全体の問題であると認識することが重要だと思います。加害者や非当事者の価値観や認識が変わらない限り社会は変わりません。また、加害者を知ることは自分自身の防犯にも繋がります。

「link」がこれからできることは、被害者と弁護士、相談機関、行政などを橋渡しすることではないかと考えています。現在、地域の催しに積極的に出ていき、アンケートを取るなど、身近なところから情報を集めつつ団体の存在を知ってもらおうとしています。性暴力に関連するジャンルとは全く無関係な地域の団体や個人と繋がることで、私たちの活動を地域の中で広げていきたいです。また今後は、団体のメンバーに男性を入れるなど、女性だけではなく多角的な視点から性暴力を捉える取り組みをしていき、解決に繋げていきたいです。

あざれあ相談

悩んだとき、困ったときには、あざれあへ

女性相談

すべて女性の相談員、医師、弁護士による相談です。安心してお電話ください。



0558-23-7879 賀茂

055-925-7879 東部

054-272-7879 中部

053-456-7879 西部

※混み合う場合がございます。時間をあけておかけ直してください。

月・火・木・金 9:00 ~ 16:00

水曜日 14:00 ~ 20:00

第2土曜日 13:00 ~ 18:00

※いずれも日・祝を除く

面接

要予約・託児つき・無料

あざれあ女性相談の番号におかけください。

月	火	水	木	金
DV・ その他暴力 10:00~ 15:00	第3 弁護士相談 13:00~ 16:00	DV・ その他暴力 14:00~ 19:00	DV・ その他暴力 10:00~ 15:00	偶数月第4 精神科医相談 14:00~ 16:00

男性相談

生き方・家庭・仕事・健康等の悩み、男性相談員が対応します。

毎月第1・3土曜日 13:00 ~ 17:00

※つながらない場合は、少し時間をおいてかけ直してください。

※第1・3土曜日が休館日の場合、次の週の土曜日に相談を実施します。

専用電話 054-272-7880